茨木市立畑田小学校　グランドデザイン　　Ｒ２．４

重点的に育成をめざす資質・能力

実践のステージ

学校教育目標

	【自己】		【協調】		【挑戦】
自尊感情を高め、自己肯定感の	自分と向き合う	醸成を	仲間と協力し、認め合う	はかる。	挑戦し続けて未来を切り拓く
基礎基本の定着と学力・体力の		向上を		めざす。	
「主体的・対話的で深い学び」		の実践を		すすめる。	

何ができるようになるのか（学校教育の基本）

・生きて働く「知識・技能」の習得。

⇒何を理解しているか、何ができるか。

・未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成。

⇒理解していること、できることをどう使うか。

・学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」。

⇒どのように社会、世界と関わり、よりよい人生を送るか。

何が身に付いたのか
（学習評価を通じた学習指導の改善）

資質・能力の３つの観点での評価

①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力等」

③「主体的に学習に取り組む態度」

⇒そのために…

・授業研究の質的な深まり

・教員に求められる力と指導体制

・教材や教育環境の整備・充実を図る。

子どもの発達をどのように支援するか

○学級経営の充実。学級経営の充実を図り、豊かな学級づくりを目指す。

○学習指導と生活指導。一人一人の理解を図り、児童相互の人間関係づくり・自己選択や自己決定を促す。

○キャリア教育の推進「キャリアパスポート」の活用。

○個に応じた指導の充実。児童の実態に応じた指導方法や指導体制を工夫、改善する。

○支援教育の充実。一人一人の発達段階に応じた指導や支援の一層充実。

何を学ぶか（教育課程の編成）

・学校教育目標についての成果と課題の検証。

・教育課程の見直しと組織等の編成。

・学校評価や PDCA サイクルの見直し。

（評価の観点や組織の運営等の改善）

・協働体制づくりの組織運営への改革

どのように学ぶか（教育課程の実施）

・育成すべき資質・能力の実現に向けた学習方法と指導方法の見直し。

・教科横断的な視点で進める学習内容と手立て。

（「情報活用能力」「問題解決力」「論理的思考力」など）

・課題を見つけ、解決しようとする「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの推進。

・多様な学習活動や学習成果の評価の工夫。

・地域の人や物などの特色を活用した授業づくりなど。

実施するために何が必要か（指導体制の充実、家庭、地域との連携･協議）・学校組織や経営の見直し改善

・教員の資質・能力の向上。⇒教科横断的な指導、「主体的・対話的で深い学び」実現のための授業改善、学習評価の改善・充実

・教材や教育環境の整備・充実。

・「チーム学校」の実現⇒子どもと向き合う時間的・精神的な余裕の確保。

・家庭、地域、様々な人材との連携を通じて、地域に支えられた学校づくり。